

2年保育における体を動かして遊ぶ活動の指導計画

期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4歳児	発達 の 道 筋	・新しい園生活に不安や緊張感があり、遊び出しきれない子もいる。 ・体を動かして教師と一緒に遊ぶことを喜ぶ。 ・固定遊具など単純な遊びを喜ぶ。 ・水遊びを喜ぶ。なかには嫌がる子もいる。 ・戸外で喜んで遊ぶようになる。 ・いろいろな遊具や用具に関心をもつ。					・体を動かして遊ぶことを喜ぶ。 ・簡単なルールのある遊びに喜んで参加するようになる。 ・いろいろな遊びに興味や関心を持ち、自分なりにやってみようとする気持ちが見られる。 ・鉄棒や縄跳び、竹ぼっくり等に取り組みできるようになったことを喜ぶ。 ・年長児の姿を見て憧れを持ち、真似たり積極的に遊びや生活に取り組んだりする。						
	ね ら い	○一人一人が好きな遊びを見つけ、教師と一緒に喜んで遊ぶ。 ○戸外で、いろいろな遊具や施設を使って遊ぶ。 ○水に慣れ、喜んで遊ぶ。 ○教師や友達と一緒にいろいろな遊びをし、簡単なルールを知る。					○クラスの友達と体を動かして、いっしょに遊ぶ楽しさを知る。 ○進級への期待を持ちながら友達と一緒に生活や遊びを意欲的に進めていこうとする。						
	内 容	○自分で好きな遊びを見つけて遊ぶ。○言葉のやりとりや動きの繰り返しを楽しむ。 ○教師と一緒に動くことを喜ぶ。○体を使ってのびのびと動く心地よさを味わう。 ○いろいろな遊具や用具の遊び方を知る。 ○固定遊具の安全な使い方を知る。 ○体を動かして遊ぶ楽しさを知る。					○遊具や用具を使って、いろいろな動きや遊びを楽しむ。 ○教師や友達といっしょに動く楽しさを味わう。 ○身体部位の名称を覚えて体を動かして遊ぶ。 ○簡単なルールを守って教師や友達といっしょに遊ぶ。 ○逃げたり、追いかけたりするスリル感を味わう						
	環 境 の 構 成 及 び 援 助	◇園生活に対する不安や緊張感を和らげ、教師とのつながりが持てるようにする。(ボールやフープなどを使って一緒に遊んだり、教師が鬼になって追いかけてこをしながら) ◇遊具、用具など自分の好きな遊びが見つけられやすいように、環境を整える。 ◇遊びの基本的な約束(押さない、順番を待つなど)を知らせ、楽しく安全に遊べるようにする。 ◇遊具の置場所やいつでも自由に使ってよいことを知らせ、十分遊びに組み入れるようにする。 ◇鬼遊びなどでは、役割がはっきり分かるように帽子などを用意しておき、幼児たちが必要な時に使えるようにする。 (⇒ 3月まで継続の矢印) ◇初めての集団生活で不安を持つ幼児が多いので一人ひとりの幼児との心のつながりを大切にし、信頼関係を築く。 ◇個人差を配慮し一人ひとりのやり方を認めながら、各自に合った助言や励ましをしていく。 ◇安全に遊べるように遊び場や遊具を十分点検する。					◇運動会の経験から受けたいろいろな刺激を、幼児の欲求を生かしながら遊びや運動会ごっこなどに取り入れ、みんなで遊ぶ楽しさを味わわせていく。 ◇「登り棒」「うんてい」等、渡れた距離を知るために色テープなどで目印を付け、目標を持ったり、励みになるようにする。 ◇ルールがはっきりわかるもの、繰り返し楽しんで遊べるものなどの活動を、幼児の経験や実態に合わせて選んでいく。 ◇教師も一員として遊びに参加し、遊びを盛り上げたり、参加しながら幼児を誘ったりして、どの子にも経験できるように機会を捉えて指導していく。 ◇自分からやってみようとして取り組んでいる姿を認め、共に喜んだり励ましたりしていく。 ◇幼児同士で誘い合い、刺激し合えるような場を多く設ける。						
5歳児	活 動 例												
	発達 の 道 筋	・年長になった喜びを感じ、これまでの経験を活かして遊ぶ。 ・戸外遊びが活発になり、運動量も多くなる。 ・固定遊具やうんていなどに自分なりに挑戦する。 ・4歳の頃からの自分の課題にチャレンジする姿が見られる。 ・水遊びやプール遊びを喜び友達の刺激を受け目標を持って頑張る。 ・簡単なルールのある遊びを気の合った友達同士で楽しく遊ぶ。					・全身を使っての運動が活発になり、自分の力を試そうとする。 ・運動会へ向けて活発に取り組むようになり、競い合って遊ぶ姿も見られる。 ・いろいろな運動遊びに興味を持ち、自分なりに挑戦しようとする姿が見られる。 ・チーム遊びに喜んで参加するようになり、ルールを工夫しながら遊びを楽しむようになる。 ・縄跳び、竹馬、まりつきなど目的をもって取り組む。						
	ね ら い	○戸外で友達といっしょに体を思いきり動かして遊びを楽しむ。 ○やりたい遊びや、新しい遊びを十分楽しむ。 ○年長組になった喜びと自信をもって生活する。 ○水遊びに進んで参加し、目的を持って取り組む。 ○友達とのつながりを感じながら遊びを進める。					○遊びのルールを考えたり、遊び方を工夫して遊ぶ。 ○友達と一緒に課題や共通の目的に向かって遊びや運動を楽しむ。 ○グループの仲間と力を合わせて遊びを楽しむ。 ○ルールや遊び方を工夫しながら、クラスの友達みんなと協力しあって遊びや生活を進める。 ○自主的に課題に取り組む。 ○一年生になる自信と期待を持つ。						
	内 容	○遊具や用具の安全な使い方を確認して遊ぶ。 ○積極的に戸外に出て、体を使って遊ぶ心地よさを味わう。 ○4歳児に親しんでかかわる。 ○自分の思いを伝えながら教師や友達とかかわって遊ぶ楽しさを楽しむ。 ○簡単なルールのある遊びを友達といっしょに楽しむ。 ○自分なりの課題を持って頑張って取り組む。					○友達と遊び方を考えたり、ルールを相談しながら遊びを進める。 ○勝敗を競う楽しさや、面白さを味わう。 ○力いっぱい走ることの満足感を味わう。 ○4歳児とのかわりを楽しみながら遊び方やルールを教える。 ○友達と役割を分担したり、協力したりして遊びを進める。 ○友達といろいろな運動遊びを楽しみ自分の力を発揮する。 ○見通しを持って遊びに取り組む。 ○最後まで頑張って取り組む。 ○友達と力を合わせて取り組み、その満足感や成功感を味わう。						
5歳児	環 境 の 構 成 及 び 援 助	◇好きな友達と十分遊べるような時間や場、遊具や用具の種類、量を配慮する。 ◇これまで経験した遊びや遊具を準備し、遊びが継続し深まるようにする。 ◇準備や後片づけなど、自分たちで遊びの場を用意したり、片づけたりできるようにする。 ◇遊びが充実していくように、場や時間を確保しながら必要に応じて関わっていく。 ◇遊具や用具、遊び場の点検を心がけ、幼児と一緒に確認しながら遊ぶ。 ◇取り組んでいこうとする一人一人の姿を認め、各自に合った助言や励ましをし満足感を味わわせていくようにする。 (⇒ 3月まで継続の矢印)					◇一学期によく遊んだ活動や共通理解ができる簡単な遊びをしながら、友達同士のかわりを取り戻していくよう援助する。 ◇クラス全体で取り組む活動では、相談したり幼児の気持ちを高めながら、成功感を味わわせていく。 ◇経験差や技能差なども目立ってくる。経験したり練習に取り組める機会を多くし、一人一人に必要な援助をしながら、自分から遊びに参加できるようにしていく。 ◇遊びのトラブルなどは、話し合ったり、考えたりしながら自分たちで解決していくように援助する。 ◇クラスの一人としての喜びや、力を合わせて取り組む楽しさなどが味わえるように活動を工夫する。 ◇目標や課題を乗り越えた時の達成感や充実感が味わえるよう言葉をかけ、次への意欲へとつながるよう援助する。						
	活 動 例												

